



CONTENTS

2~4面

令和4年度入学式特集

学長式辞

新入生代表・私の抱負

在学生代表・歓迎の言葉

4・5面

企業説明会

初のオンライン方式に

大光銀行・そら野ファームとの3者連携

作る・食べる・つながるプロジェクト

学部長のメッセージ

オープンキャンパス案内

6・7面

第2回 新潟SDGsアワード

RWPの啓発活動に奨励賞

パワーリフティング選手権大会入賞

澤口ゼミ生が西区自治協議会で発表

にいがた観光親善大使として

教員の活動

8~12面

令和3年度卒業式特集

学長式辞・理事長祝辞・卒業生答辞

退職教員あいさつ・卒業にあたって

JABEE認定プログラム

28人に修了証書授与

特別表彰・式典スナップ



NIISホームページ
https://www.nuis.ac.jp
(スマートフォン対応)



Facebookページ
https://www.facebook.com/nuis.face



Instagram



Twitter
@nuis_nabbit



YouTube
公式
チャンネル

式
辭



新潟国際情報大学
学長 越智 敏夫

ケートなどを見ると、大学でもつと勉強しておけばよかつたという後悔は国境を越えて、広く共通してみられるものです。私の国外の友人たちも同様なことを言います。大学卒業者がここまで同じ後悔を共有するには何らかの理由があるはずです。私は大학教員として以前からこの理由について考えてきました。おそらく三つくらいの理由があるように思います。

理由のひとつめは簡単です。大学生である4年間はあまりに楽しいことが多いといることです。勉強する前に遊んでしまいうんですね。そういう誘惑に負けてしまう。それはそれで当然でしょうし、私自身も人のことは言えません。映画見たり、お芝居見たり、他にもかなり遊んだし、お酒も飲みました。しかし言い訳するとそれらの遊びにも意味はあるたと思います。ちょっと長くなるのでその話については、今日は省略します。

ふたつめの理由もある程度は簡単です。それは勉強という行為に終わりがないからです。私は勉強したと思っても、勉強つて不思議なもので、すればするほど絶望に近いものを感じるようになります。勉強つて

思いますが、彼／彼女らで自分のことを大先生だと思つてゐる者はいないはずです。それは謙遜ではなくて、勉強、研究するということはそういう発言をさせないようにできているからです。

以上のふたつの理由で、大学を卒業した者すべてが「もつと勉強しておけばよかつた」と思う理由のかなりのところは説明しているように思います。でも本当はもうひつあるんじゃないかと思つています。それは「大学とは何をするところか」という問題ともかかわる、ちょっと面倒な問題です。

現在、本学をはじめ、日本中、また世界中に大学と呼ばれる組織があります。なんでこんな組織がひろがつたのか、その理由はどうのよくなものでしようか。それは大学で「ものを考える」ことを社会が良いと思つてきたということです。さらには、その「ものをとことん考える」ということはどういうことでしょうか。その点において、大学はスキル、技能、技術、知識だけを教える他の教育機関とは決定的に異なります。ではこの「とことん考える」ということは何を意味するのでしょうか。

それはふたつの側面をもつと思ひます。すでにそのひとつはこうして始まつてゐるわけですが、「考えることについて考える」ということです。つまりこれも際限なく「続いていきます。はやりの言葉でいうと「メタ」ということになるかもしれません。メタ

んなことに意味はない」などと言つてしまひます。しかしこれは思考の放棄です。意味について考える根性のない人にかぎつてこういう言い方で相手を批判するんですね。だからそんな人たちに反論するには「意味がない」という意味だよ」と返してやればいいのです。

そして「とことん考える」ということ、その「とことん」ということのもう一つの側面は、その考える内容が、いつでもどこでも通用するということです。ある時代のある地域だけに通用するような答えは、考えたことのなかには入りません。どんな場所、どんな時代でも成立するようなことを解答として導きださないといけないのであります。難しくいえば普遍的ということですが、語源的には大学とも近いユニバーサルという考え方かたはここに生まれます。

私たちも大学でものを考える以上、それらの答えがいつ、どこでも成立するような答えにしていく責任があります。しかしこれもまた現実的に考えると大変な作業です。というのもこの世界は複雑で、なおかつ予測不可能なことばかり起きるので、その答えが簡単にはできないことばかりだからです。

たとえば現在のロシアによるウクライナ侵略も、どのようにして解決すべきか、国連を中心としてこれだけ議論しても答えはなかなか見つかりません。また答えが見つかったとしても、それが実効可能かどうか

大学は自立した個人の共同体

そして4年後、皆さんは本学を卒業したあと、すぐ
に働くことになるでしょうけれど、その後
悔の念は働いている日々のなかで大きくな
ることはあっても消えることはありません
。嘘だと思うのなら、皆さんのもとに聞いて
いる方々で大学を卒業した人たちに聞いて
みてください。まちがいなく全員が「大学生
のときにもつと勉強しておけばよかつた」
というはずです。
さらにいえばこの後悔は日本だけの現象
ではありません。他の国でも卒業後のアン

底なし沼のようなところがあつて、完成形のようなものがありません。あることについて理解した瞬間には次の問題がおそつてきます。ある本を読んだとしても、次に読むべき著作は何か、すぐにわかります。きりがないんですね。

ですから、勉強の成果といういは常に途中経過の途中報告です。そういう意味では研究者は自分のことを常に未熟者と考えます。本学の教員には優秀な研究者が多いと

考える、といつても良いでしよう。「どことん考える」ということは、そういう際限のない思考経路を作り上げていくことであります。そうすることによって思考の方法も身につけていくことになります。しかしこの思考法をつくりあげるということは現実的に考えると、とても大変で、ふつうは途中でやめてしまします。ノイローゼになつても怖いですし。だからふつうの人はあることについて批判するとき、「そ

のになってしまいます。ある問題をどのように考え、どのように解決をはかるのか。大事だからこそ、この作業は大変な労力を必要とします。

問題をどのように認識するか。その解決方法をどのように作り、どのように実行するか。さらにはそれをどの時代のどの地域の人々も納得するようにしなければならない。これはもううんざりするような作業です。

けれどもこのような作業について考える必要で深刻な問題をめぐつては、「論破しました」といつた子どものケンカではあるまいし、ちゃんとした勝敗はつかないものばかりなんです。ところがテレビや不ツトでは論理など最初から放棄したようなめちゃくちゃな論法、とさえ言えないような恫喝や脅しに近いものいで、自分の立場を正当化し相手を批判するような人々が紹介されたりしています。末世だと思いますが、逆にいって、これはいかに現代社会が普遍的な考え方、ユニバーサルな論理を必要としているかという証左でもあるといえるでしょう。

さらにはこのユニバーサルという単語にしても、それが先進資本主義社会の、それも一部の国的一部の階級や企業のための利益にしかならないようなものをユニバーサルと呼んでいるようにも見えます。それらを批判し、有効な代替案をつくることは本当に大変な作業です。

今お話ししたようにウクライナの例を考えただけでも、世界は複雑で対立に満ちて

私の抱負

新入生代表 国際文化学科 1年
石山 美野里

まだ寒さの残る中、少しずつ春の暖かさを感じる季節になりました。

本日は私たち新入生のためにこのような素晴らしい入学式を挙行していただき、誠にありがとうございます。また、数々の激

励のお言葉をいただき、心より御礼申し上げます。現在、世界各地で新型コロナウイルス感染症が流行しております。私たちの住んでる日本もその渦中になります。ネットワーク技術が飛躍的に進化したこの時代に新型コロナウイルスが世界中で流行したこと、様々な情報が飛び交い、その情報量に翻弄された人も少なくないのではないでしょうか。

向上心忘 4年間

新潟国際情報大学での4年間を有意義なものにするために、常に向上心をもち、謙虚さを忘れず、経験豊富な先生方から多く学びながら、日々成長し続けることをお誓いし、新入生代表の抱負とさせていただきます。

上心忘れず 4年間を有意義に

ユニケーションを図れるような言語力や表現力も必要となります。これらの力を、見識豊かな先生方から学び、同じ志を持つ友人たちと共に向上させていきたいと思ひます。また、勉学に励むだけでなく、日常生活

しかし、これまでにお話ししたように、この「ものごとをとことん考える」ということ、メタとユニバーサルにものを考えることは、一般的の社会生活ではとても難しいことです。どのような社会でも、ある時代のある場所でそのような社会になつた過去のある経緯がありますし、利害関係が複雑に張り巡らされていて、そのがんじがらめのなかで、バーサルな方向へ思考を開放するというこ

まなかつたことにされていきます。だからこそ大学という「ものを考える」場所の機能が重要になります。何が問題なのか、それを見つけて大学は社会に嫌われなければならぬのです。そして、そうした場所に4年間いてその「とことん考える」という行為、つまりは大学での勉強を一度でも経験した人たちは社会に出たあとでその行為の意味を、どんなに漠然としたものであつても、考へざるをえないのです。そ

共にものをとことん考えよう

で私たち生きているからです。そういう私たちふだん、社会のあり方についてとことん考えることはしません。ノイローゼになるからです。そして社会のほうもだんだん自動的に動く領域が増えていきます。簡単にいえば、社会の流れにそつて何も考えないで生きていいくほうが楽だからです。たとえ社会のなかに大きな問題が生じてきても、それを問題として考えない人ばかりだつたら、それはそのまま

しかし心配することはありません。どうでもいいような人間関係を作るくらいなら一人で生きていくべきです。友人は作ろうとして作るものではありません。そのような本来あるべき大学での勉強を続けているのです。それがuniversalと並んで、大学を示すもうひとつの中語とも深く関連するcolleagueという言葉の意味でもあります。同僚、仲間というこの中語は、ものをとことん考える大学という場が自立した個人によつて構成される共同体であることを示しています。

私たち教職員一同、そして在学生が皆さんをお迎えしているのは、この共同体に皆さんのが参加することを歓迎するということでもあります。4年間、一緒にものをとことん考えていきましょう。本日は入学、おめでとうございます。

Digitized by srujanika@gmail.com

い出し、そのうえで現実に立ち向かってもらいたいと思います。これからそのための勉強が始まります。「ものをとことん考えること」という経験です。

もしかしたら、その行為は皆さんを孤独にするかもしれません。いつでも、どこで最も成立する考え方というのは、「一見、優しいものに見えるかも知れませんが、それはべたべたした人間関係に依存した感情的な共同性つまりはなれ合いやらコネ的なつ

してその際限なくものを考えるということを、現実との落差もまじえて懐古的になつかしく思い出すのでしょうか。だからこそ、大学を卒業した人たちが自分の勉強をずっと不十分なものとして考え、「もつと勉強しておけばよかつた」と思い続けるのです。これが大学を卒業した人たちの悔恨、後悔の実体ではないでしょうか。なので、4年後に皆さんができるような後悔の念をもつたとしても、それは悪いことでも恥ずべきことではないのです。

歓迎のことば



在学生代表 情報システム学科

國松 美里

さんには、これから悔いのない大学生活を送つてもらいたいです。前書きが長くなりましたが、これらの大学生活を送る上で、私が大事だと思つてゐることを二つほど皆さんにお伝えしたいと思います。一つは「何事にも積極的に挑戦すること」です。大学は高校とは違い、自由な時間が多めです。時間の使い方は人それぞれですが、私は皆さんに、多くの挑戦をする人になつてほしいと思つてゐます。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。またご父母の皆さんにも、お祝い申し上げます。在学生を代表し、皆さんに歓迎の意を表したいと思います。さて、新入生の皆さんにとつて今日は、大学生活を始める記念日となります。皆さんは今、どんな気持ちでしようか。

高校時代に皆さんは、数ある将来の選択肢の中で、大学進学を選択しました。これから起ころるであろう様々な出来事に、希望に満ちあふれた気持ちがある一方で、新しい環境に身を投じることに対する不安もあるでしよう。皆

失敗恐れず挑戦を

権だと思つています。

ぜひとも、将来のあなたの世界が少しでも広がるように、挑戦をし続ける人であつてください。

二つ目は、「人との縁を大切にすること」です。皆さんは、これまで多く

何度も何度も挑戦し、例え失敗をして傷ついても、それから学び、得られたものがこれから皆さんにとつてかけがえのない財産になります。それができるのは自由な時間が多めの大学生の特

権だと思つています。最後になりますが、大学は勉強することだけがすべてではありません。自分が挑戦してみたいことにつては、皆さんの経験はそのまま皆さんの財産になります。

大切にして、様々なことを経験してください。どんな結果でも、自分たちが挑戦し、人とのつながりを

ことになります。

本年3月3日にそ

ら野テラスで実施し

た、プロジェクト立

ち上げの記者発表で

は、大光銀行の長谷

川幸夫地域産業支援

部長が、「これまで

銀行は金融支援中心

だったが、今後はお

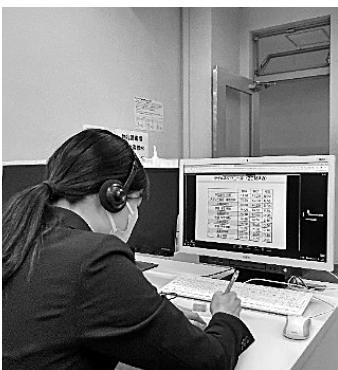
客が抱える課題を

の縁に開まれてきたことでしょう。家族の縁、友達の縁、師弟の縁など。その延長線上に今の皆さんがあります。ぜひ、今までお世話になつた人たちとの学習でも、多くの出会いがある事も嬉しいです。自分を成長させてくれる人、自分を信じてくれる人など縁を増やし、大げにしてほしいと私は思っています。

その人たちはきっと、自分では気づけなかつた可能性や体験を広げる手助けをしてくれるでしょう。人から学び、様々な経験や知見を積んでほしいです。

最後になりますが、大学は勉強することだけがすべてではありません。自分が挑戦してみたいことにつては、皆さんの経験はそのまま皆さんの財産になります。

大光銀行・そら野ファームとの3者連携



オンライン合同企業説明会に
参加する学生

合同企業説明会

令和5年3月卒業予定者を対象にした学内合同企業説明会が3月16、17日

に開催され、275人の学生と県内企業76社が参加しました。

新型コロナウイルス感染症の終息が見込めない状況下で開催方式を検討した結果、本学では初となるオンライン方式が採用されました。学生は各自希望する企業ブースに入室し、画面越しではありま

初のオンライン方式に

76社 275人が参加

内合同企業説明会とな

りました。

が、総じて

学生にとって有意義な時間となつたよう

です。

ご協力をいただいた企業・団体には、

業界や企業への理解を深めていま

した。

説明会終了後に実施したアンケートによると、1日の参加可能上限である

が、企業・団体の話に熱心に耳を傾け、業界や企業への理解を深めていま

した。

説明会終了後に実施したアンケートによると、1日の参加可能上限である

新入生に望む

ロシアによるウクライナ侵略、住民の殺戮・戦争犯罪という歴史に残る大禍の最中に入学された新入生へ。人権と自由が保証され、た日本で勉学できるということが、いかに貴重で稀なことかを考え、保護者に感謝し、NUiSに入学できた自分を褒めてください。この大学で、将来あらゆる仕事・分野で、地域に留まらず世界

にも同時に強くなれば、そこから地域に留まらず世界に通用する仕事に発展できます。アルバイトもしつかり兼務しながら専門と英語の勉強にいそしみ、次のス

専門と英語の一万多語で世界に貢献できる

藤田 晴啓 学部長

経営情報学部

コロナ禍でのここ2年間、私たちは異常さの中で日々を送ってきました。平凡な日常の完全な回復にはまだまだ時間がかかるかも知れませんが、異常さの中で正常な状況を思い起こしたとき、そもそも大学の役割は何だろうという、より本質的な問い合わせになりました。新入生

A black and white portrait of a woman with short, dark hair and glasses, smiling. She is wearing a dark jacket over a light-colored shirt. The background is blurred, showing foliage.

申銀珠 學部長

今、ここで、基本を大切に

生の皆さんにも、そもそも大学で学ぶことの意味は何だろうと真剣に考えるきっかけになつたのではないでしようか。学びの形や働き方が多様化する中で、皆さんは大学で学ぶことを選択されました。それも新潟の大学、その中でも国際学部を選択されました。国際学部の教育プログラムの特徴は、充実した外国語教育と留学プログラム、多様な観点からの国際理解・地域研究、少人数クラスのゼミナールを柱とするものです。だれもが期待と不安を抱えての新しいスタートとなります

呑みにするようなものでは決してありますせん。物事に対して疑う力、悩み考え判断する力を身につけて始めて知識は価値を生み出します。一つ一つ基本を着実に固めながら国際色豊かな教育環境で、ポストコロナ時代の新しいグローバル化の荒波に備える能力をぜひ身につけてください。自分が元気になること、自分の周りを元気にし、新潟という地域を元気にすることから始めましょう。

今後、反戦・平和運動は私たちの日常生活の中により切実な課題となるでしょう。

に貢献できる生涯目標をみつけ、勉学して欲しいと希望します。

経営情報学部では、地域に根ざしながらグローバルに発展できる経営学と、人間中心で世界経済に貢献できる情報システムを学び、新潟にいながらでも世界共存に関われる仕事に発展できるという勉学の機会が用意されています。

情報」と英語の二刀流です。メールやNSを含めた英語コミュニケーションをこれから努力してある程度使いこなせるようになり、経営か情報システムの専門

の二刀流で世界に

貢献できる
は、目標に向かって切磋琢磨する仲間、先生方がいま
す。そして自分らしさを見つけることができます。そんなNUiSで一緒に学びま
しょう。



第2回 新潟SDGsアワード



2030年を達成期限とする世界共通の目標「持続可能な開発目標（SDGs）」を学内外で推進する活動に取り組んでいるSDGs推進団体Rainbow World Project（以下RW Project）が、このほど、「第2回新潟SDGsアワード」で奨励賞を受賞しました。

長引くコロナ禍のなかで、なかなか思うような活動ができませんでしたが、そのような状況の中で、顧問の山田裕史先生から、「新潟SDGsアワード」というイベントがあることを紹介していただきました。

RWPのメンバーで実際に応募するかどうかを協議し、「チャンスがあるから挑戦してみよう」というサ

イベル長の一声で応募を決

めました。どのような活動で応募

しようか話し合った結果、2021年に作成した第1弾のSDGsステッカーなら、学生の活動として最も注目していただけのではないかと考えました。

第1弾のSDGsステッカーの内容は、主にSDGsの17のゴールを説明するものです。実際、SDGsステッカーが学内に目につくところにあつたことから、SDGsを知った人も多いのではないか。が伴っていたことも応募のきっかけでした。

RWPの啓発活動に奨励賞 ステッカー活動で17ゴールを明示

めました。どのような活動で応募しようか話し合った結果、2021年に作成した第1弾のSDGsステッカーなら、学生の活動として最も注目していただけのではないかと考えました。

第1弾のSDGsステッカーの内容は、主にSDGsの17のゴールを説明するものです。実際、SDGsステッカーが学内に目につくところにあつたことから、SDGsを知った人も多いのではないか。が伴っていたことも応募のきっかけでした。

SDGsアワードで奨励賞を受賞できてとてもうれしいです。また、顧問の山田先生はもちろん、RWPの先輩方を含めたメンバーみんなにとても感謝しています。

現在、学内では地域連携委員会と共同で作成した第2弾のSDGsステッカーを置いています。食堂や学生会館など、学生の皆さんが多く利用する場所にありますので、ぜひ、ご覧になつてください。

（国際学部 4年 津村和楓）



左が筆者、中央が藤瀬部長

試合を通して、最後まで諦めずに練習に励むことの大切さを感じました。ヘルニアだからと、自分のできることをやらずに出場してたら、自己ベストはおそらく達成できていません。パワーリフティングに限らず、受験でも就職活動でも、最後まで諦めずに取り組んでいれば、その努力は報われるかもしれません。これからもこのことを忘れずにいこうと思います。

4年生という最後の年になりますが、今後の目標はふたつあります。ひとつは来年の全国大会で1位を取り、世界大会に出場すること。もうひとつは一般74キロ級スクワットの新潟県記録を更新することです。今後も気を抜かずに練習に励んでいきます。

高橋元輝さん 自己新で入賞 夢は大きく世界大会に出場

遠方まで足を運び、セコンドについてくださった藤瀬部長、バッカアップをしてくださる大学の皆さん、いつも励ましてくれる部活動のメンバー、両親への感謝の気持ちでいっぱいです。

全国大会に参加する2週間前に右足の不調で、スポーツ外科を受診したら、ヘルニアの可能性があると診断されました。思うように右足に力が入りにくい中、調整を続けた結果、「ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会」で、スクワット、ベンチプレス、デットリフトの3種目の自己新記録を出すことができました。順位は14人中8位と決して高い順位ではありませんが、自分の限界を出せた試合だったので、心に残る試合だつなりました。

（国際学部 4年 高橋元輝）

全国大会に参加する2週間前に右足の不調で、スポーツ外科を受診したら、ヘルニアの可能性があると診断されました。思うように右足に力が入りにくい中、調整を続けた結果、「ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会」で、スクワット、ベンチプレス、デットリフトの3種目の自己新記録を出すことができました。順位は14人中8位と決して高い順位ではありませんが、自分の限界を出せた試合だったので、心に残る試合だつなりました。

（国際学部 4年 津村和楓）

パワーリフティング選手権大会

藤田 美幸（経営学科・准教授）

・(2022年3月11日)「バーチャルマラソン大会における参加者の地域関与度に関する研究：微笑みの国を歩いて、走って、旅気分！Virtual Fun Run in Thailandの参加者に着目して」スマートライフ学会2022年大会（オンライン）

3) 競争的資金獲得研究

鈴木 佑也（国際文化学科・准教授）

・(2021年4月より新規～2024年3月) 2021年度若手研究「フルシヨフ政権期における建築プロジェクト・ソヴィエト宮殿の解明」研究代表者

4) 委員・社会的活動・記事・その他

佐藤 泰子（国際文化学科・講師）

・(2021年5月より継続) 佐藤研究室（NUIS TOURISM PROJECT）と新潟県観光協会と共同研究・(2021年11月27日) 日本国際観光学会 第25回全国大会 学生動画コンクール「新潟県観光DXサポート」の取り組みについて」学術賞受賞（東海大学代々木キャンパス・ハイブリッド開催）

藤田 美幸（経営学科・准教授）

・(2022年2月4日) 第3回越後平野における生態系ネットワーク推進協議会（オンライン）

山田 裕史（国際文化学科・准教授）

・(2022年1月27日) 『新潟日報』「ここからSDGs〈2〉ファッショ」にコメント掲載
・(2022年2月28日) シンポジウム「新たな『平和』の実現に向けて可能性を探る」に講師として参加（生徒による研究発表への講評および講演）（新潟市立高志中等教育学校・オンライン）
・(2022年3月3日) 本学・大光銀行・そら野テラスによる連携事業「つくる・たべる・つながるプロジェクト」キックオフイベントにて、3～4年ゼミ有志8人とともにSDGsワークショップ「『食』から考える新潟と世界の未来」を実施（新潟市西蒲区・そら野テラス）

澤口ゼミ生が西区自治協で発表

催された西区自治協議会第3部会では、4年

で、ぜひ実現すべきである」といった評価をもらいました。

自治協議会は、新潟市が2007年に政令市に移行した際に、市民と行政との協働によって住民自治の推進を図るために、市長の附属機関として各行政区に設置されました。

眞柄歩さん（今春卒業）は、設置から14年となる協議会で議論されてきた議題や委員のやりがいなどを詳細に分析

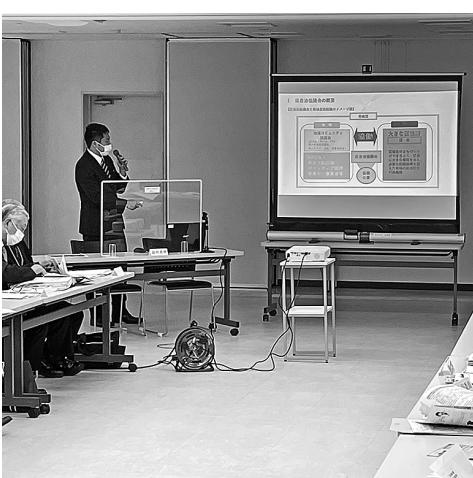
眞柄さん 現状と課題を分析 星野さん「潟の駅」整備を提案

生の星野陽菜さんが「拠点設置による地域資源の活用と地域活性化」のタイトルでゼミを代表して発表しました。佐潟と日本有数の砂丘および砂丘農地が控えています。これらを地域資源として活かし、赤塚とその周辺にはラムサール条約湿地の

この二つの発表は、地域活性化をテーマとした澤口ゼミでの勉学と研究成果を学外に向けて発信する取り組みの一環として行われたものです。

西区自治協議会の現状と課題」としてまとめました。これが西区役地域課に評価され、2022年3月25日に西区役所で開催された西区自治協議会本会での発表に結びつきました。一方、同年3月8日に新潟市西区役所で開

西区自治協議会の現状と課題」としてまとめました。これが西区役地域課に評価され、2022年3月25日に西区役所で開催された西区自治協議会本会での発表に結びつきました。一方、同年3月8日に新潟市西区役所で開



西区自治協議会本会で発表する眞柄歩さん

にいがた観光親善大使として

国際文化学科3年 市野瀬 桐花

私は「にいがた観光親善大使」に憧れて、二度選考会に挑戦しました。そして二度目の挑戦となつた昨年、第12代にいがた観光親善大使に選出していただきました。

私は「にいがた観光親善大使」として活動し始めて約半年。活動の中で今までお会いしたことがない方とお話ししたり、イベントや表彰式に参加させていただいたら、貴重な経験をさせていただいております。それに加え、SNSを活用し、全国に新潟の魅力を発信する活動もしてい

く、見て楽しい投稿になるように工夫しています。大学での学びを観光親善大使の活動に活かしていることをとてもうれしく思います。

活動を通して、今まで気づかなかつた新潟の魅力に出会うことができ、さらに新潟が大好きになりました。これからもお会いした方や、SNSでの投稿を楽しみにしてくださる

笑顔を忘れずSNSで新潟の魅力発信

方に笑顔を届けるこ

私は

国際学

部佐藤泰子先生の研究室に所属し、「NUIS TOURISM PROJECT」に参加しています。その活動で学んだことを活かし、Instagramでの情報発信の際には、日本語だけでなく英語でも記事を書き、誰が読んでもわかりやす

きますので、応援よろしくお願ひいたします。



1)研究論文・図書

区 建英(国際文化学科・教授)

- (2022年1月) 「丸山真男思想中の『永恆與時間』」 黄俊傑・安藤隆穂編『東亞思想交流史中の脈絡性轉換』 國立臺灣大學人文社會高等研究院東亞儒學研究中心 (285~320頁)
- (2022年1月) 「從丸山真男的『古層』視點看日本的歷史意識」 黄俊傑・安藤隆穂編『東亞思想交流史中的脈絡性轉換』 國立臺灣大學人文社會高等研究院東亞儒學研究中心 (321~357頁)

鈴木 佑也(国際文化学科・准教授)

- (2021年11月) 「ソヴィエト宮殿 建設計画の誕生から頓挫まで」 水声社 (444頁)
- 瀬戸 裕之(国際文化学科・准教授)

- (2021年12月) 「ラオス人民民主共和国」 鮎京正訓・四本健二・浅野宜之編『新版 アジア憲法集』 明石書店 (459~508頁)

堀川 祐里(国際文化学科・講師)

- (2022年2月) 『戦時期日本の働く女たち——ジェンダー平等な労働環境を目指して』 晃洋書房

教員の活動 (本人申告による)

(244頁)

山田 裕史(国際文化学科・准教授)

- (2022年3月) 「カンボジア・シハヌークによる政治権力の独占と王政の成立」 稲谷祐子編著『アジアの脱植民地化と体制変動：民主制と独裁の歴史的起源』 白水社 (457~484頁)

吉澤 文寿(国際文化学科・教授)

- (2022年1月) 『韓日会談1965 戦後韓日関係の原点を検証する』(朝鮮語、嚴泰奉訳) (285頁)

2)学会・研究会・講演等

梅原 英一(情報システム学科・教授)

- (2021年12月13日) Ueda, K. 'Prediction of Nikkei VI increase for reducing investment risk using Yahoo! JAPAN stock BBS'. The 6th International Workshop on Application of Big Data for Computational Social Science in WIAT'21 (Online)
- (2022年1月27・28日) 上田健太郎「金融指標予測のためのソーシャルメディアに適した分散表現獲得手法の検討」社会情報システム学シナポジウム (オンライン)

学長式辞

新潟国際情報大学
学長 野崎 茂

皆さんはコロナ禍拡大の兆しが見え始めました。2年前に急遽立ち上げたオンライン遠隔授業へも即座に、また柔軟に対応していただきまして、この新潟の、立ち位置から考えてみると、この地域に生きる私たちとしましては、「アジアと共に生きる」ということが考えられます。今現に多くの耳目はウクライナやヨーロッパ東部そしてロシアに集まっていますが、近畿圏に順応しただけではなく、自主的なグループワークへの取組みに発展させるなど新たな工夫を凝らしてくれた方々もおられました。「情報大学」の名に恥じない、皆さんのデジタル能力、習熟度の高さには感心させられること頻りでした。

新型コロナ感染者の数は、新潟県にあつては波があるものの依然高止まりの状態が続いているあります。そのような中ではあります、また延防止等重点措置の解除もあり、本日こそは、せめてもの救いということなのではないでしょうか。

本日ここに参列の皆さんはどうんな思いで式典に臨んでおられますでしょう。4年間の大学生活後半は不完全燃焼のまま過ごさざるをえず、思い残すところが多かったという方もいるかも知れません。他方で、制約が多々ある中でも精一杯の努力で所定の課程を修了したという達成感に浸つておられる方もいるかも知れません。思いはそれぞれであります。我々教職員は採り得る中で最善の策を追求して来たつもりではあります、皆さんの大学生活4年間における夢や希望に必ずしも十分に応えることが出来なかつたのでもあります。いかという忸怩たる思いが残つております。

本日ここに学士の学位を授与された情報文化部7名、国際学部125名、経営情報学部163名の皆さん、ご卒業おめでとうござります。新潟国際情報大学の役員、教職員、家族、ご友人、ご関係の皆さんにもお慶び申上げます。

本日ここに学士の学位を授与された情報文化部7名、国際学部125名、経営情報学部163名の皆さん、ご卒業おめでとうござります。新潟国際情報大学の役員、教職員、家族、ご友人、ご関係の皆さんにもお慶び申上げます。

本日ここに参列の皆さんはどうんな思いで式典に臨んでおられますでしょう。4年間の大学生活後半は不完全燃焼のまま過ごさざるをえず、思い残すところが多かったという方もいるかも知れません。他方で、制約が多々ある中でも精一杯の努力で所定の課程を修了したという達成感に浸つておられる方もいるかも知れません。思いはそれぞれであります。我々教職員は採り得る中で最善の策を追求して来たつもりではあります、皆さんの大学生活4年間における夢や希望に必ずしも十分に応えることが出来なかつたのでもあります。いかという忸怩たる思いが残つております。

本日ここに参列の皆さんはどうんな思いで式典に臨んでおられますでしょう。4年間の大学生活後半は不完全燃焼のまま過ごさざるをえず、思い残すところが多かったという方もいるかも知れません。他方で、制約が多々ある中でも精一杯の努力で所定の課程を修了したという達成感に浸つておられる方もいるかも知れません。思いはそれぞれであります。我々教職員は採り得る中で最善の策を追求して来たつもりではあります、皆さんの大学生活4年間における夢や希望に必ずしも十分に応えることが出来なかつたのでもあります。いかという忸怩たる思いが残つております。

皆さんはコロナ禍拡大の兆しが見え始めました。2年前に急遽立ち上げたオンライン遠隔授業へも即座に、また柔軟に対応していただきまして、この新潟の、立ち位置から考えてみると、この地域に生きる私たちとしましては、「アジアと共に生きる」ということが考えられます。今現に多くの耳目はウクライナやヨーロッパ東部そしてロシアに集まっていますが、近畿圏に順応しただけではなく、自主的なグループワークへの取組みに発展させるなど新たな工夫を凝らしてくれた方々もおられました。「情報大学」の名に恥じない、皆さんのデジタル能力、習熟度の高さには感心させられること頻りでした。

「アジアと共に」を忘れず 日本の未来を切り開け

学修面のみならず生活面においても然りです。感染リスクを回避するため社会活動全般に亘る行動規制が敷かれ、経済活動の縮小が余儀なくされました。それに伴う世帯収入へ影響やアルバイトの機会の減少なども相俟つて、経済的な困難に対処しなければならない状況に対しても多かったことと思います。そうした状況に対して不十分ながらも本学のみならず国を挙げての支援が整備されて参りました。これらの支援制度を活用するなどしながら皆さんはこの苦境を乗り越え、本日この

太平洋に移りつつあると言えましょう。その時に日本はアジアと共に生きるということです。これからいろいろな恩恵を享受できるはずであります。その場合、裨益(ひえき)することだけを考えるのではなく本当の意味で「アジアの国々と、そしてそれらの国の人々と共に歩む」という考え方方が特に大事になると思います。それから「海に生きる」ということも考える必要があります。日本の面積は38万平方キロメートルで、世界61位に過ぎません。しかし、排他的経済水域EEZでは、6800の島を有する日本は、447万平方キロメートルで、21世紀海上シルクロード」とも言うべき「一路」を加え、その中継地點にある港湾などのインフラ整備拡充を行うことで、陸と海から広域経済圏をつくろうというものです。2017年にはスリランカのハンバントタ

ルで国土の12倍となり、世界第6位です。例えば中国は国土面積では世界第3位ですが、EEZでは日本のわずか二割です。そして、この大学についてもう一度振り返ってみましょう。私たちの新潟国際情報大学は1994年に環日本海地域の中核都市新潟で、情報化、国際化社会で活躍できる人材育成を行うことを目的として設立された大学です。そのため対岸各國との交流など地理的条件を活かした教育を行うことに早くから注力して参りました。建学の理念として「日本文化と異文化の違いを理解し、国や地域を越えて情報文化に貢献できる人材を育成し、情報社会を先導し、国、地域、人間の文化を尊重しつつ国や地域を越えて人類の福祉向上に貢献する」と謳っております。本学はロシア、中国、朝鮮、そして日本の環日本海圏と呼ばれる国際地域圏の発展に寄与し、日本海側の中心ともいって新潟を対岸諸国との交流の拠点にして行こうという動きが起きました。本学の設立は

その流れに沿つたものと言えましょう。うちなみに、今から百年以上前に米国の海軍

が「海に生きる」ということを考えていく必要があります。

そこで私たちの日本の、そしてその中の新潟の、立ち位置から考えてみると、この地域に生きる私たちとしましては、「アジアと共に生きる」ということが考えられます。今現に多くの耳目はウクライナやヨーロッパ東部そしてロシアに集まっていますが、近畿圏に順応しただけではなく、自主的な

工夫を凝らしてくれた方々もおられました。「情報大学」の名に恥じない、皆さんのデジタル能力、習熟度の高さには感心させられること頻りでした。

「アジアと共に」を忘れず 日本の未来を切り開け

大学の校長を務め、現代史に、そして日本に大きな影響を与えたアルフレッド・T・マハン(1840-1914)は「国力を高揚させるためには、通商の拡大が重要であり、そのためには必然的に貿易品の生産が不可欠である」とおっしゃります。これを実現するための要素として、当該国地理的位置、資源の分布などを挙げております。

こうした考え方沿うようにして、周辺国のみならず世界中に勢力伸長を図ろうとしているのが先程も述べました中国。習近平国家主席が2013年に提唱したシルクロード経済圏構想は、かつて中国と欧州を結んだシルクロードを模して中央アジア経由の陸路「シルクロード経済ベルト」つまり「一帯」を再興、強化し、これにインド洋経由の海路、いわば「21世紀海上シルクロード」とも言うべき「一路」を加え、その中継地點にある港湾などのインフラ整備拡充を行うことで、陸と海から広域経済圏をつくろうというものです。2017年にはスリランカのハンバントタ

港の中国への99年の租借が合意されました。これに対して「債務の買」Debt Trapと呼ぶ批判が起きたのも記憶に新しいところで

ギリシャのペレウス港についても同国が債務問題で苦境に陥りEUが救済措置に手を拱いており、タイミングに乗じて、2016年に中国遠洋海運集団(COSCO)が経営権を取得しました。

2019年3月にはイタリアとG7で初めて一带一路構想で協力することで合意に達しました。イタリアは中国との間でアドリア海のトリエステ港や西のジェノバ港の機能強化を図っていくこと。このほかにも中国はEU加盟国とは東欧圏を中心に13カ国と

覚書に調印し、関係を強化しております。話題は少し横道に逸れてしましました。これまで国レベルの話として紹介して参りましたが、これは県レベル、都市レベルの話として考えてみてても当てはまるものと思います。そこでもう一度新潟が置かれている状況という観点から考えてみましょう。

日本は、総延長約35000キロメートルにおよぶ長い海岸線を有しており、諸外国と比べても、国土面積当たりの海岸線延長は非常に長くなっています。その中で新潟県の海岸延長は本土330・8kmと離島303・9km

kmで総延長634・7kmにのぼります。本学の至近にある新潟砂丘は北東部の村上市岩船港から南西部の角田山麓まで連続して分布しています。全長70kmと日本一の長さを誇ります。ただ砂丘が何列もの列状に並んでいたりして砂丘というイメージがあまりなく鳥取砂丘のような観光資源とするには今一つのかも知れません。

とは言え先ほど挙げた国を富ませる要素の一つとしての地理的位置という点で、本州のほぼ中央に位置する新潟は太平洋側諸都市や工業地帯へのアクセスも容易ということで極めて恵まれていると言えましょう。

一方県勢という観点から新潟の産業はどんな状況かと言いますと、新潟県がまとめた令和3年度の統計によれば、県内総生産、県民所得はいずれも全国16位、農業県ということもあり米を中心とする農業県出額は同13位、林業産出額は同2位、漁獲量は同24位のレベルで、食材の宝庫であることをアピールした標語「うまさぎつしり新潟」の面目

躍如といったところです。製造業ではモノづくりに欠かせない高度な基盤技術が集積する国内有数のクラスターがあり、繊維などの伝統工芸品の生産も盛んで、製造業の事業所数は同9位、付加価値額は同20位と健闘しております。ところが如何せん、新規事業の開業率となりますが、全国45位に沈んでしまいます。自然環境に恵まれ、相当程度自給自足が可能な農業生産物があり、製造業も盛んという豊かなバックヤードを持つている。あくせく無理をしてリスクを取りながら世界各地や県外の新天地を求める必要もないということなのでしょうか。

先程紹介したマハンは、絶対王政の下で宮廷文化の華を開かせたフランスとその百年ほど後のヴィクトリア女王期にパックス・ブリタニカと称される時代を築き上げたイギリスの例を取り、「フランスには気候温和で快適な土地があり、国内の産物で自国民の需要を十分に満たしうるのである。これに反して、イギリスは自然の恵みに乏しく、その製造業

が発達するようになるまでは輸出品も僅少であつた。イギリス人が諸資源に欠き恵まれた状況でなかつたことが逆に、その精力的な活動力や海上進出の機運を促す結果となつたのである」と論じております。ここで述べられているフランスの例など、まさに現在新潟が置かれている状況にピッタリ当てはまるのではないかでしようか。

そしてもう一つの要素として挙げられた国民性ならぬ県民性。新潟県人は温厚従順かつ我慢強いといわれます。悪く言えば、覇気に乏しく引っ込み思案ということなのかも知れません。こうしたいろんな要因が反映された結果が、停滞が続いていると言われて久しい今の新潟の姿ということなのでしょう。この新潟の現状を何とか打破して活気ある新潟を復活させたい。

私たち教職員は冒頭申し上げたとおり「日本文化と異文化の違いを理解し、国や地域を越えて情報文化に貢献できる人材を育成することに努めて参りました。つまるところ

4年後今日はどうでしょう? 本音で語り合える仲間との出会い、授業、ゼミを通して学ぶ喜びを教えてくれた先生、大人としてのこの4年間の学園生活は、かけがえのない一生の宝物になつたはずです。「いいや」ではなく、「自分で決断し、自ら表現する」ことを学んできました。先生や友人と培つたコミュニケーション力を活かして社会に貢献する力が必ず身についています。今から向き合う仕事も同じです。まず、自分の仕事を好きになつてください。新入社員が業績で一番になることは難しくても、仕事を一番好きになることはできます。単純なことですが、最も大切なことだと思います。小説家の井上靖は、「努力する人は希望を語

り、怠ける人は不満を語る」と言つていてください。皆さん一人ひとりが希望を語るになつてください。

本学は平成6年に開学し、これまで28年間、一度も定員割れすることなく極めて順調に運営がなされてきました。教職員のご尽力はもとより、卒業生の、それぞれの分野での人生に幸多かれと祈りつつ、私からの祝いの言葉、餞の言葉とさせていただきます。本日はご卒業誠におめでとうございます。



学校法人 新潟平成学院
理事長 佐々木 辰弥

新潟国際情報大学、第25回卒業生、295名の皆さん、卒業おめでとうございます。併せてご参列のご父母の皆様、心よりお喜び申しあげます。学校法人新潟平成学院の佐々木と申します。一言お祝いを申し上げます。新型コロナウイルスの猛威は、我々のこれまでの日常生活を大きく変化させました。本学においても、2年前の前期授業はオンラインで行われる等今まで経験したことのないパンデミックに襲われました。そして未だな

業式が終了すると、いよいよこの不確実な実社会の只中に踏み出すことになります。できれば、明るく、住み良い社会であつてほしいと願いますが、そう簡単ではないでしょ。しかし、怯まないでください。この4年間、皆さんは、「自主的に判断し、自ら表現する」ことを学んできました。先生や友人と培つたコミュニケーション力を活かして社会に貢献する力、判断する力が必ず身についています。今

その流行は収まらず、猛威を振るつています。ただ、嘆いても、恨んでもこの事実は変わりません。これからは、これが新しい日常と受け入れ、対応していかなければなりません。また、今、世界は、武力による地域紛争、人種差別や人権問題、自然災害や環境問題等、人類の生命を脅かす脅威は、人類にとつて非常事態の様相を呈してまいりました。私たちにとっても対岸の火事では済まない問題が迫っています。

学んだ力で希望を語れる人に

日まで学んだことに自信を持って一步踏み出してください。ところで、4年前の入学の頃を思い出してみてください。皆さんの多くは本学を第一志望に選んでくれたことだと思いますが、中には、そうでない方もいたのではないかと思いまます。言われるままに登校し、流れに合わせて授業に出席することで「良し」としていたり

り、怠ける人は不満を語る」と言つていてください。皆さん一人ひとりが希望を語るになつてください。

本学は平成6年に開学し、これまで28年間、一度も定員割れすることなく極めて順調に運営がなされてきました。教職員のご尽力はもとより、卒業生の、それぞれの分野での人生に幸多かれと祈りつつ、私からの祝いの言葉、餞の言葉とさせていただきます。本日はご卒業誠におめでとうございます。

理事会、評議員

会のあり方など、学校法人ガバナンス改革不祥事により、

4年後の今日はどうでしょう? 本音で語り合える仲間との出会い、授業、ゼミを通して学ぶ喜びを教えてくれた先生、大人としてのこの4年間の学園生活は、かけがえのない一生の宝物になつたはずです。「いいや」ではなく、「自分で決断し、自ら表現する」ことを学んできました。先生や友人と培つたコミュニケーション力を活かして社会に貢献する力が必ず身についています。小説家の井上靖は、「努力する人は希望を語

り、怠ける人は不満を語る」と言つていてください。皆さん一人ひとりが希望を語るになつてください。

本学は平成6年に開学し、これまで28年間、一度も定員割れすることなく極めて順調に運営がなされてきました。教職員のご尽力はもとより、卒業生の、それぞれの分野での人生に幸多かれと祈りつつ、私からの祝いの言葉、餞の言葉とさせていただきます。本日はご卒業誠におめでとうございます。

私の大学4年間は、国際交流ファシリテーターとの出会いから始まりました。3年間国際交流して活動し、計8校の学校を訪れ国際理解教育を実践できたことは、私の大きな自信につながり、また大学院への進学にも大きな影響を与えるました。

さらに山田裕史准教授のゼミナールに所属し4年間の集大成ともいえる卒業論文を書きながら卒業にあたつた。

しかし、2年生の時に派遣留学で北京へ行くことを決心しました。私の母親から、学生のころは留学したいと思ったけど、中途半端に終わってしまったと聞いて、「やりたいこ

夢をかなえた北京留学

国際文化学科 廣瀬 祐大

「…」と思ひ、北京留学へ行きました。

留学で語学力を向上してきたのはもちろん、他国的学生との交流やサークル活動での交流もできました。後押ししてくれたのは、両親だけではなく、中国語専攻の佐藤若菜先生や區建英先生の存在もありました。この経験を糧に有意義な社会生活を送りたいと思いま

学生生活を振り返って助けになつたのはキヤリ援課の存在です。私は就職活動に対して強い苦手意識を感じていました。自分をアピールすることに不慣れで、不安が解消されない毎日でした。しかし、キヤリア支援課のイベントや講義に参加する中で苦手意識が消えていきました。

就活で苦手意識を克服

経堂学科 渡邊 幹生

士で話し合うサークル「Job college」では、メンバーと話し合うことで自身の立場や状態を客観視でき、就職活動に 対する考え方方がポジティブになりました。その結果、本学で学んだ知識と技術を余すことなく志望企業に伝えることができました。

キャリア支援課の存在がこれからキャリア形成を明るく してくださいと考 えます。

卒業にあたつて

私の大学4年間は、国際交流ファシリテーターとの出会いから始まりました。3年間国際交流ファシリテーターとして活動し、計8校の学校を訪れ国際理解教育を実践できたことは、私の大きな自信につながり、また大学院への進学にも大きな影響を与えるました。

さらに山田裕史准教授のゼミナールに所属し4年間の集大成ともいえる卒業論文を書きながら

一生忘れられない経験

国際文化学科 上村 菜々美

ロジエクトや弥彌マル
んくなど、産学連携の
活動にも参加し、大
変貴重な経験をさせ
ていただきました。

入学当初は想像も
していなかつた、多
くの出会いと経験は
一生忘れる事はあ
りません。支えてく
ださつた先生方、両
親、かけがえのない
大学の友達に感謝し
ます。本当にありが
とうございました。

大学生活を振り返
学時は「4年は長い
う」と考
えていま
したが、実際はとても
早かつたと感じてい
ます。

その中で思い出深
いものは、学友会執行部での取り組みで
す。学友会執行部に
入った理由は、「既
に知人が所属してい
たから」という随分
軽い理由です。

こんな理由で所属
しましたが、大学内
画から運営まで、あ

思い出深い学友会活動

情報システム学科 魯井 華菜子

ゆる仕事をするのはとても楽しかつたです。学友会の中で情報システム学科 亀井 華菜子も責任を持たなくてはいけない学友会長や会計を務めることができたのは、将来のためにも良い経験でした。

充実した生活を送られたのは、両親をはじめ、本学教職員の皆さま、友人があつてこそのことです。この場をお借りして心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

JABEE認定プログラム 28人に修了証書授与



日本技術者教育認定機構（JABE）に認定されている、情報システム技術プログラムの令和3年度修了証書授与式が、3月18日に新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）で行われ、28名に修了証書が授与されました。経営情報学部情報システム学科としては初めての修了生です。

JABE認定基準は、国際的な技術者教育認定制度に準拠しているので、修了生は世界に通用する教育を受けた技術者であるといえます。修了生は国家資格である技術士の第一次試験が免除される優遇措置が受けられます。

卒業後は、修了生、卒業生、技術士、教員の集まりである「交流会」に参加して、多様な業種間交流や、自己研さんの場として利用していただきたいたいと思います。

